

家棟川ビオトープ 魚の観察会を 開催しました～



令和元年8月24日(土)9時から、野洲市野田地先の家棟川ビオトープで魚の観察会を開催しました。

昨日の雨から一転、さわやかに晴れた天気の中、家族連れや個人の方々26名とスタッフ19名の計45名での開催となりました。

船に乗って家棟川と琵琶湖沖での刺し網や投網で魚の捕獲を行いました。刺し網ではニゴロフナやニゴイが捕れました。参加者は捕獲した魚を手にとりながら、先生からの説明に耳を傾けていました(〇)



船に乗って、いざ出発



家棟川で刺し網を見学



ビオトープの池で魚捕り



講師の先生による説明

ビオトープの池では、昨日の雨で水位が高く、また泥の堆積により、歩くのに苦戦しながらも、網を持って魚捕りを行いました。その努力もあって、メダカやフナやヨシノボリ、ヌマムツの稚魚やスジエビやヌマエビなどの甲殻類、タイコウチなどの水生昆虫も捕れました。講師の先生から捕獲した魚の特徴や見分け方などの説明があり、皆さん真剣に耳を傾けて聞いていました。その後、子どもたちは、水槽を覗き込み、魚の観察をしていました(〽)

最後に全員そろっての記念撮影をした後、ビオトープ内で採れたヨモギやクズ、セイタカアワダチソウ、スイバなどの野草と漁師さんに提供いただいたワカサギの天ぷらをみんなで試食しました。

「おいしい」と言って、天ぷらのおかわりをする子どもたちやおにぎいを持参して天ぷらと一緒に食べられていた参加者もおられ、みなさんに楽しい時間を過ごしていただきました。

参加してくれた子どもたちからは、池に入っただけの魚捕りが面白かったとか、また参加したいという声もいただきました。

次は、11月30日(土)に秋の自然観察会を開催予定です。多数のご参加をお待ちしております！！



捕獲した生き物を観察



参加者全員で記念撮影



おにぎりと天ぷらを食べています



野草と魚の天ぷらを試食

家棟川ビオトープ自然観察会

主催：滋賀自然環境研究会、NPO法人家棟川流域観光船、野州市環境課、

滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室、南部土木事務所

協力：独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所